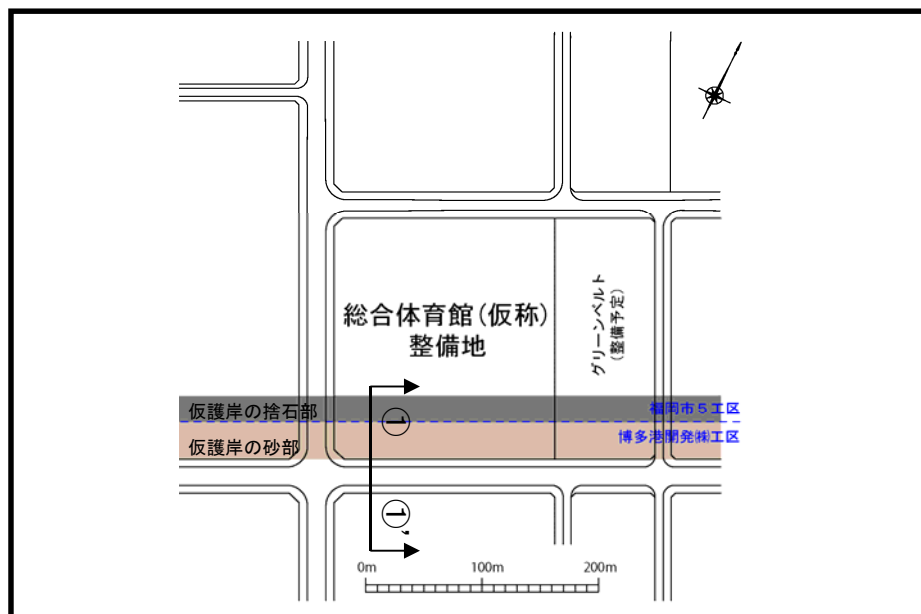
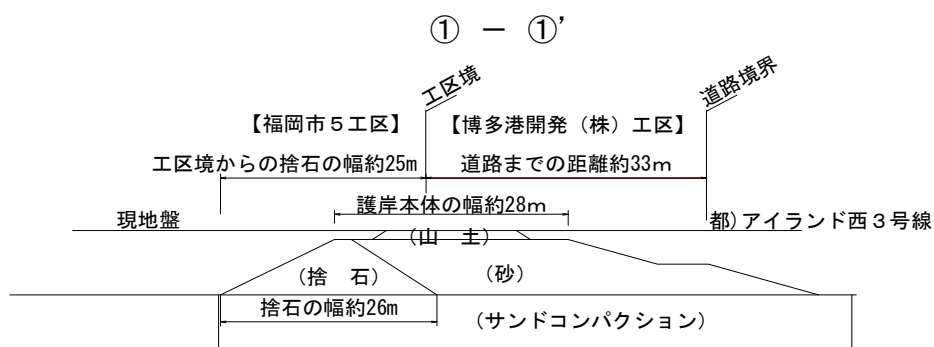




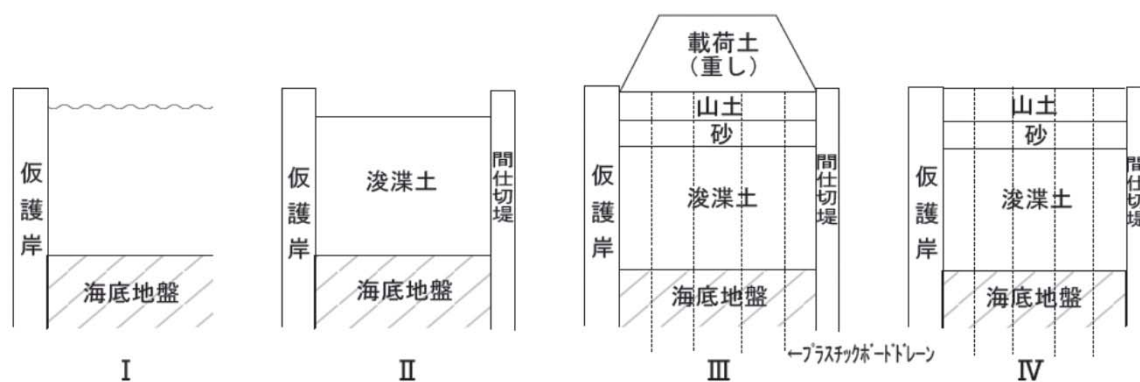
《仮護岸の標準的な断面》



※上記断面は、標準的な断面を示したものであり、現況とは異なる場合があります。

■埋立工事の経緯②

《埋立・地盤改良の段階図》



I. 埋立区域を囲む仮護岸を築造

II. 埋立区域内は、主に博多湾の航路整備で生じた浚渫土（主として粘性土※）を用いて埋立。あわせて間仕切堤により埋立区域内を分割。

III. 浚渫土は、水分を含んでいるため、排水管の役割を果たすプラスチックボードレインを土中に打設し、重しとなる載荷土により圧密排水。

IV. 十分な水抜きが完了し、地盤が安定したら、載荷土を撤去し、工事完了。

※アイランドシティで用いている浚渫土は、主として粘性土ですが、砂・砂礫等も含んでいます。